

伊賀山 少納言入道信西の國分には山城の國のよし申侍れども因幡の山もその國にあるをいふ事に侍れば伊賀の國のかたといはんはとがあるべからず○中略

名張郡 南の方の名所

夏身山 山田郡のさかいにある山となり○中略

阿拜郡 伊賀の國北よりの名所來歴なり

敢國大明神 直指抄云少彦名神者伊賀國阿拜郡敢國明神也○中略

山田郡 いがの國東よりの名所

烏坂明神 烏坂のさとにまします直指抄に下照姫なり

○按ズルニ本書ニハ伊賀國中ニ於ケル山川寺社古蹟ヲ舉グルコト甚ダ多ケレドモ今其煩ヲ避ケテ一部分ヲ示ス

雜載

〔延喜式二十八〕諸國健兒略○中 伊賀國卅人略○中

諸國器仗 伊賀國甲一領、橫刀四口、弓廿張、征箭冊具、胡籬冊具、

〔延喜式三十四〕鍛冶戶○中 伊賀國三烟

伊勢國

伊勢國ハイセノクニト云フ東海道ニ在リ東及ビ南ハ海ニ至リ西ハ近江伊賀大和東南ハ志摩西南ハ紀伊北ハ美濃尾張ニ堺シ東西凡ソ十二里其狹キ處凡ソ四里南北凡ソ二十七里アリ此國ハ古ヘ國府ヲ鈴鹿郡ニ置キ桑名員辨朝明三重河曲鈴鹿庵藝安濃壹志飯高多氣飯野度會ノ十三郡ヲ管シ延喜ノ制大國ニ列ス明治維新ノ後朝明郡ヲ廢シテ三重郡ニ